

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009神第44号	
事故等名	貨物船第三十八進宏丸貨物船泉隆丸衝突	
発生年月日時刻	平成21年1月12日17時47分ごろ	
発生場所	兵庫県東播磨港	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月20日神戸・地方事故調査官がB船の海難報告書入手、 2月25日A船船舶所有者から口述聴取し、海難報告書入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	A 貨物船 第三十八進宏丸 499トン	
船舶番号(IMO 番号)	132950	
船舶所有者等	進宏海運株式会社	
船種・船名・総トン数	B 貨物船 泉隆丸 498トン	
船舶番号(IMO 番号)	140326	
船舶所有者等	岡本汽船有限会社	
乗組員等に関する情報	A 船長 三級海技士(航海)	
	B 船長 四級海技士(航海)	
負傷者	A なし	
	B なし	
損傷	A 右舷外板に凹損	
	B バルバスバウに凹損	
事故等の経過	A船は、積荷役のため兵庫県東播磨港南岸壁3号に着岸作業中、西風に圧流されて 錨泊中のB船に接近し、B船は、A船の接近に気付いてサーチライトを照射して注意 喚起を行ったが、平成21年1月12日17時47分ごろ、A船の右舷船側とB船のバル バスバウとが衝突した。 当時の天候は曇りで、風速約20m/sの西風が吹き、視界は良好であった。	
分析	気象・海象の関与	あり
	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	判明した事項の解析	A船は、西風に圧流されたときの操船を適切に行わなかった 可能性があると考えられる。
原因	本事故は、A船が着岸作業中、西風に圧流されたときの操船を適切に行わなかったた め、錨泊中のB船と衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	